

農閑期等でシステムをご使用されない期間は、以下の点についてご注意の上、保管してください。詳細につきましては、「取扱説明書（電動アクチュエータ・水位水温計）」等をご参照願います。

1. 電動アクチュエータ

電動アクチュエータを保管する場合は、以下の点についてご注意ください。なお、積雪地区で、除雪車による荷重の影響を受ける場合は、ほ場から本体を取り外して保管してください。

■ほ場に設置したまま屋外保管する場合■

- ・ **主電源スイッチを必ず OFF** にしてください。
- ・ 電動アクチュエータの保管温度は-20～40℃です。外気温が-20℃を下回る場合は保温材による養生等、必要に応じ対策を施してください。
- ・ 積雪地区で除雪車等による横方向の力による影響を受けない場合は、1.8m 程度の積雪でも問題のないことを確認していますが、紫外線や積雪荷重から保護してより良い状態を保つために PE 袋による養生や、塩ビ管等で防護することを推奨します。
- ・ 直射日光が太陽電池に当たらない状況が 6 カ月を超える場合は、予めバッテリーは取り外して保管してください。



■ほ場から取り外して屋内保管する場合■

- ・ 電動アクチュエータは圃場情報と紐付けしています。再設置の際には、同じ圃場に同じ本体を設置する必要がありますので、取り外す前に圃場番号等が確認できるようにしてください。
- ・ バッテリーを装着したまま移動させる時は必ず電動アクチュエータを縦置き状態にしてください。
- ・ 電動アクチュエータは-20～40℃で保管してください。
- ・ バッテリーを装着して保管する場合は、**主電源スイッチは必ず OFF** にして、縦置きで保管してください。また、冷暗所(-20～20℃以下)での保管を推奨します。
- ・ バッテリーの自己放電による容量の低下を防ぐため、保管開始から 6 カ月毎を目安に 3 日間程度直射日光下に置き、太陽電池による充電を行ってください。

★バッテリー保管時の注意点

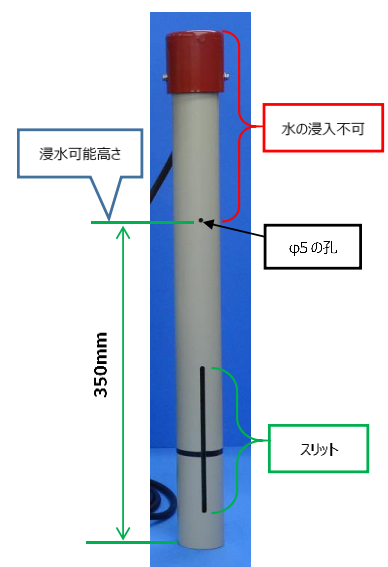
- バッテリーを電動アクチュエータから取り外して保管する場合は以下についてご注意ください。
- ・ 保管前に太陽電池による充電や充電器で充電しバッテリーの電圧を 12.4V 以上にしてください。
 - ・ バッテリーのショートを防ぐため、端子を絶縁テープ等で覆ってください。
 - ・ 冷暗所(-20～20℃以下)での保管を推奨します。直射日光の当たる場所で保管しないでください。
 - ・ 自己放電による容量の低下を防ぐため、保管開始から 6 カ月毎を目安に充電を行ってください。
 - ・ ご使用を再開する前にバッテリーを充電してください。太陽電池による充電の場合は 12.4V 以上にしてください。充電器を用いる場合は満充電をお奨めします(12.9V 以上を目安)。

2. 水位水温計

- ・ 設置しているほ場から取り外して、バケツに水を溜め、本体下部を水ですすぎ、本体やセンサに付着した泥やゴミ等を取除き、屋内(-20～40℃)に保管してください。
- ・ 水位水温計は電動アクチュエータと紐付けしていないため、再設置の際に、当初と異なる電動アクチュエータに設置しても問題はありません。

★清掃時の注意点

- ・ 水位水温計の内側の上部（φ5の孔より上の箇所）に水が浸入すると故障の原因となりますので、本体を立てた状態で上部に水が浸入しないように清掃してください。
- ・ 清掃後、水が付着した状態で本体を横にしたり、逆さまにすると上部に水が浸入しますので、乾燥するまでは縦置きしてください。



3. 通信中継機

- ・ 設置したままで問題はありませんが、電気代が発生するため電源コードを抜いてください。